

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】令和5年6月14日(2023.6.14)

【公開番号】特開2021-176829(P2021-176829A)  
 【公開日】令和3年11月11日(2021.11.11)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-055  
 【出願番号】特願2020-119469(P2020-119469)  
 【国際特許分類】

C 0 7 K 1 6 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 P 1 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 K 3 9 / 3 9 5 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 1 2 N 1 5 / 1 3 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【F I】

C 0 7 K 1 6 / 1 8                      Z N A

A 6 1 P 1 / 0 2

A 6 1 K 3 9 / 3 9 5                      N

C 1 2 N 1 5 / 1 3

【手続補正書】

20

【提出日】令和5年6月5日(2023.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

U S A G - 1 に特異的に結合して中和する抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項2】

30

U S A G - 1 に特異的に結合してU S A G - 1 のB M Pシグナリング抑制活性を中和する、請求項1記載の抗体またはその抗原フラグメント。

【請求項3】

U S A G - 1 に特異的に結合してU S A G - 1 のW N Tシグナリング抑制活性を中和する、請求項1または2記載の抗体またはその抗原フラグメント。

【請求項4】

( b ) それぞれ配列番号15、配列番号16、および配列番号17で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの重鎖相補性決定領域、または、それぞれ配列番号18、配列番号19、および配列番号20で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの軽鎖相補性決定領域、

40

( c ) それぞれ配列番号25、配列番号26、および配列番号27で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの重鎖相補性決定領域、または、それぞれ配列番号28、配列番号29、および配列番号30で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの軽鎖相補性決定領域、

あるいは、

( e ) それぞれ配列番号52、配列番号53、および配列番号54で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの重鎖相補性決定領域、または、それぞれ配列番号55、配列番号56、および配列番号57で示されるア

50

ミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの軽鎖相補性決定領域

を含む、請求項1～3のいずれか1項記載の抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項5】

(g) 配列番号13で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖可変領域、または、配列番号14で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、

(h) 配列番号23で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖可変領域、または、配列番号24で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、  
あるいは、

10

(j) 配列番号50で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖可変領域、または、配列番号51で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域  
を含む、請求項1～4のいずれか1項記載の抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項6】

(l) それぞれ配列番号15、配列番号16、および配列番号17で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの重鎖相補性決定領域、およびそれぞれ配列番号18、配列番号19、および配列番号20で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの軽鎖相補性決定領域、

20

(m) それぞれ配列番号25、配列番号26、および配列番号27で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの重鎖相補性決定領域、およびそれぞれ配列番号28、配列番号29、および配列番号30で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの軽鎖相補性決定領域、  
または、

(o) それぞれ配列番号52、配列番号53、および配列番号54で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの重鎖相補性決定領域、およびそれぞれ配列番号55、配列番号56、および配列番号57で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む3つの軽鎖相補性決定領域

30

を含む、請求項1～3のいずれか1項記載の抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項7】

(q) 配列番号13で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖可変領域、および配列番号14で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、

(r) 配列番号23で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖可変領域、および配列番号24で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域、  
または、

40

(t) 配列番号50で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む重鎖可変領域、および配列番号51で示されるアミノ酸配列と少なくとも90%の配列同一性を有するアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域  
を含む、請求項1～3および6のいずれか1項記載の抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項8】

USAG-1への結合について、請求項4～7のいずれか1項記載の抗体またはその抗原結合フラグメントと競合する抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項9】

50

配列番号 3 1 に示されるアミノ酸配列を含むエピトープに結合する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載の抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項 1 0】

抗体がヒト化抗体またはキメラ抗体である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項記載の抗体またはその抗原結合フラグメント。

【請求項 1 1】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか 1 項記載の抗体またはその抗原結合フラグメントを含む、歯の再生治療のための医薬組成物。

10

20

30

40

50